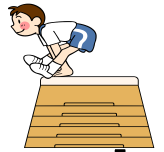


今こそ！体育授業の充実を！

八重山地区小学校体育研究会副会長
(石垣市立八島小学校学教頭)



前二一盛 敦

先生方が体育の授業後によく口にする言葉があります。「跳び箱が全然できない」、「でんぐり返しもできない」、「走り方やリズム感がおかしい」、「今の子ども達の運動感覚に「まさか」、「うそでしょう」、「信じられない」という言葉が数多く出てきます。

かわいそうなのは、子ども達です。今の子どもの達を取り巻く生活環境の変化が運動に親しむことのできない子ども達を多く作っているのです。さらには、体を動かすことを好まない児童は、動作がぎこちなかったり、仲間とうまくかかわれなかったりするなど技能面だけでなく、精神面にも大きな影響を与えています。

さて、それでは小学校教師である私達は何をすればよいのでしょうか？

「運動感覚を高める体育授業」、「心と体が一体となつて楽しくできる体育授業」、「仲間と一緒に運動する喜びを味わう体育授業」を意識して授業改善に取り組んでいるでしょうか？

現実には、学力向上推進への取り組みが中心となり、体育の研究授業は皆無といつても過言ではありません。人を育てるには、知・徳・体のそれぞれをバランスよく指導する必要があります。

育の授業をしつかり行うことで、子ども達に確かな学力・生きる力が育つのです。例えば、サッカーの授業では、ボール感覚・技術を習得するだけでなく、自分たちがの中にルールが出来るだけでなく、得意な子が苦手の子に教えながらゲームをし、お互いのプレーに刺激を受けながら、いいプレーには賞賛の言葉が飛び、シミュレートが外れた時には、励ましの言葉が出るような光景をたくさん目にします。

その他、体育授業で身に付くことは、楽しむ力・おもしろがる力・理解力・体力・知力・気力・運動神経・喜怒哀楽・忍耐力・知瞬発力・思いやり・共感力・人を認めたり

励ましたりする気持ち・団結力・手加減・友情・集中力・意欲・学習力・計算力・数学的認識・国語力・言葉や体の表現力・感受性・創造力・想像力・発想力・柔軟性・順応性・適応力・応用力・判断力・信頼関係・リズム感・精神的強さ・健康管理・防衛力・反射神経・マナー・ルールを守る大切さ・善悪の認識・達成感・満足感・優越感・かけがえのない思い出などなど息切れするぐらいです。

体育授業は、実に奥が深く、子どもの学力向上、人格形成にとっても大切なものなのです。

また、体育授業の基盤のひとつに学級づくりがあり、学級経営がうまくいっているかどうかは体育の授業を見れば、一目瞭然です。

間づくりをして、一目瞭然です。学級づくりを通じて、実際に体を動かすことやスキップを通して、心と心、体と体の触れ合いを通しての仲間づくりができるのは、体育授業の大きな特長です。

小体研の仲間とはもとより、すべての先生方！子ども達が大好きな体育の授業、子ども達の豊かな成長に欠かせない体育授業づくりを共に研究しましょう。

最後にになりましたが、八重山地区小学校体育研究会では、今年度、石垣小の半嶺当陽先生が保健「病気の予防」の授業、平真小の兼松宏史先生が体育「跳び箱運動」の授業を行いました。

また、石垣小 田由美子校長先生、平真小 黒島一哉校長先生、新川小 石垣安志校長先生をはじめ各先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

二十五年度は、沖縄県学校体育研究大会が八重山地区開催となりました。八重山地区小体研では、六年一回の本大会を成功させたいと取り組んでいます。多くの先生方のご協力をお願いいたします。

実り多き！実技講習会

小学校体育研究は、八重山地区の子ども達へ、より一層充実した体育学習を提供していくことを目指し、一年に一回、小学校体育実技講習会を開催しております。

去年、八月二十九日に、新川小学校の花城正憲教諭による攻防を展開する運動を通して体力の向上を図る(ネット型)プレッポールと石垣小学校の半嶺当陽教諭・小浜小学校の田代和真教諭による、体ほぐしの運動、表現運動について実技講習会を行いました。具体的な指導実践の事例の紹介と、共に参加した約三十名の先生方が、運動不足の体にむちを打ちながらも、笑顔と共に、講師の正憲先生と当陽先生から次々と紹介されるいろいろな運動に挑戦していました。本研究会では、このように、会員の先生方をはじめ、本地区の先生方の要望等を集約し、定期的に実技講習会や公開研究授業を開催していきます。より多くの先生方と、日常の体育学習における指導上の悩みや成功例等の情報等をお待ちしながら気軽に参加できる講習会を目指しております。お待ちしております。

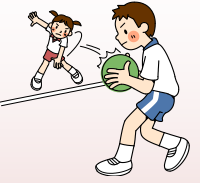


ボールの工夫。児童の実態に合わせて、バランスボールを使っている動きを紹介してました。



「体ほぐしの運動」を始めるに当たり・・・「いたたたた」と叫び続ける先生方が・・・

感想



竹富町立大原小学校
仲本 英男教諭

「離島にいと、なかなかこういう研究会に参加できない！」というのは、半分は事実ですが、残りの半分は、本人の気持ち次第であることもしかり。台風で船が出ないだろうと思いき、少し残念に、そして少しほっとして、2学期の準備を進めようとしていたところでした。「大原航路一通常運行！」運動会の計画もままならない状態ですが、気合いを入れて、今回の講習会に参加させていただきます！

○前半の半嶺先生による伝達講習から（体づくり運動）
リラクサスしながらのストレッチや、身近な新聞紙を使っての遊びや表現運動などの紹介がありました。バランスボールや平均台を使ってのゲームもありましたが、授業ですぐに実践できそうなものも多く、さらに子どもたちが笑顔で楽しむ姿が容易に想像できました。運動している間は常に音楽が流れ、児童が盛り上がるような場の雰囲気、また体が自然にリズムを刻めるという工夫も授業にぜひ取り入れたいと感じました。

表現運動の「バトル」をテーマにした動きは、各グループとも様々なアイデアで、見事に「バトル」を表現していました。これもまた、すぐに使えそうなネタです！

○坂名城先生による伝達講習から（ネット型ゲーム）
ネット型ゲームのプレルボールを初めて体験しましたが、学年や児童の実態に応じて、またソフトバレーボールまで発展させるまでの過程で、ルールをいろいろと設定できるのが大きな魅力に感じました。シンプルルールがゆえに、頭のかたい大人にはぎくしゃくとしたプレーが多かったのですが、これもまた子どもたちへすぐに紹介したいゲームです。

今回の伝達講習会では、子どもたちが体操やゲームで触れ合い、表現運動では協力し合い、ボールゲームでは作戦を練り合うなどの、「関わり」を意識した授業づくりの大切さを、改めて感じました。運動会の種目・演目の選定や練習においても、少しでもそれを意識した指導を心掛けたいと思います。花城先生、半嶺先生、どうもありがとうございました。

感想



石垣市立登野城小学校
知花 英孝教諭

日頃の運動不足解消にと、思い切った体育実技講習会に参加した。臨時をしていたとき、沖縄市で受けた講習会でもよかった記憶もよみがえった。そのときは、水泳の講習会で、同僚の先生に誘われて学級の子どもたちと一緒に練習をさせて参加した。空き時間がほとんどない小学校の先生は、なかなかこのようない講習会に参加することはむずかしい。少し無理をして参加したが、そこでの水泳講習が楽しく、学び多いものとなり、水泳の授業が自信をもつてできるようになった。体育の実技講習はすぐ授業に活かせるので、少し無理をしてでも参加したほうが良いと思った。

特に印象に残っているのが、「じゃんけん双六」（私は「じゃんけんランニング」と勝手に言い換えている。）と「アルプス一万尺」。どちらも単純なだけども、じゃんけんや音楽があると動かさざるを得ない状況になっていた。また、表現活動の「エアワールド」は、「バトル」をテーマにバドミントンや釣り、ピッチャーとバッター様子など、やっても見てもおもしろかった。ネット型ゲームの「プレルボール」は、チーム全員が参加できるルールで、負けているチームが「ラッキーボール」（得点が増える）を申告できるなどさらに興味深かった。途中、チームに作戦を考えさせる、作戦の違うチームの方法を見せる指導もとてもためになった。

今回、沖縄に行つて学び、八重山の先生たちのためにと講師をしていただいた花城正憲先生、半嶺当陽先生、資料を作ってくれた田代和真先生、本場にありがとうございます。次回も是非参加して、子どもたちに還元できるように、力をつけたいと思います。私に声をかけ、広報誌を学校まで届けたり、講習会の司会をしたりしていた新垣三貴子先生、お疲れ様でした。ありがとうございます。

公開提案授業

「跳び箱運動」
提案者
兼松宏史教諭

十月二十五日（木）
に、平真小学校の兼松宏史先生による体育の学習「器械運動」跳び箱運動（五学年）の公開提案授業が行われました。場の工夫あり、活気あふれる、アイデアいっぱい授業展開でした。



感想

石垣市立 登野城小学校 城間 朝司教諭

「集合」、先生の周りに子どもたちが小走り集まってくる。先生を囲むように座ると、どの子どもも先生の方へ体を向け真剣な表情で話に聞き入っている。そして、また元の場所に整然と並び、活動を開始する。十月二十五日（木）、平真小学校体育館で行われた公開授業での何気ない一場面だ。しかし、「跳び箱運動」の授業を見に来たつもり私の目に最初に飛び込んできたのは、学習のしつけがきちんと身につく、規律ある態度の五年生の姿だった。兼松先生の学級経営のすばらしさを感じた。

授業導入では、BGMに合わせて、「こんな運動やってみよう」と題して、主運動につながるための大きな大きさ跳びやかえるの足うち、頭倒立などを何度も繰り返して練習することで、体と心の準備を整えていった。また、友達同士補助し合ったり、声を掛け合ったりするなどして、楽しみながら活動している様子が印象的だった。そして、①では、「自分のできる技をレベルアップさせよう！」と今できる技を確かめさせる活動が行われた。大型スクリーンに映し出されたそれぞれの技のお手本とポイントを確認した後、それぞれ自分のレベルにあった場所に移動し、できる技をより大きくより美しくレベルアップさせよう！一生懸命に練習していた。その際、マットの横にフラップを置いて、その中で児童が友達にアドバイスをするという工夫が見られた。

最後に②では、「努力すればできるような技に挑戦しよう！」とそれぞれ課題にあった場に自分で行った練習を始めた。その様子を兼松先生がビデオで撮影しており、自分の演技を映像で振り返ることができた。児童は口々に「一手の付く位置が違う」「腰が上がってない」などの課題に気付き、お手本や技のポイントと比較することで自己評価することができた。

最後に今日できるようになった技がある児童がミニ発表会を行った。発表を終えた児童に大きな拍手が起きる。はにかみながらも笑顔がこぼれ、どこか誇りにげな表情に、「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる」という小学校体育の真髄を見たような気がした。

今回の公開授業では、道具の確保の問題や日常的ではないといった問題点もあったが、教師が難義した分、子ども達は輝き、自信を付けたすばらしい授業だったように思う。また、課題克服のために「bnd」を含めたマルチメディア活用の可能性を感じた。次年度は沖縄県小学校体育研究会が八重山で行われる。ぜひ、今回の授業を活かした提案授業が行われることを期待したい。

終わりに、忙しい中何度も指導案検討を重ね、私達に様々な示唆を与えて頂いた兼松先生をはじめ小体研の皆様、また、会場を提供して頂いた平真小学校の先生方、本当にありがとうございました。

指導案検討会

授業の副指し、3検ま
案の検討、活用、指導
提議案の検討、活用、指導
公開の提案、活用、指導
公認の提案、活用、指導
も兼ね、指導、活用、指導
今回の指導案検討会では、



18時～吉濱会長自宅にて